

巻頭言

農学研究院資源生物科学部門
准教授 山内 伸彦

部長就任のご挨拶

馬術部の部員諸君ならびに松風会の皆様、はじめまして。今年度より服部先生に代わって馬術部の部長を拝命いたしました山内伸彦です。服部先生の研究室である家畜繁殖生理学分野の准教授であることからご指名を受け、馬術部部長を引き受けさせていただきました。就任にあたり自己紹介を兼ねて一言ご挨拶申し上げます。

まず経歴を簡単に紹介させていただきますと、私は東北の宮城県仙台市出身で学位終了（東北大学）まで地元で過ごしました。その後、盛岡とつくばでポストクとして過ごし、2003年4月に現職として着任し現在に至ります。

専門は“動物生殖生理学”であり、着床を中心とした妊娠成立のメカニズムを明らかにすることを目的としています。現在は着床関連遺伝子の検索と生体外着床モデルの構築を中心テーマとしています。農学は応用学問なので、受精卵移植による受胎率の向上や不妊治療への応用がゴールとなるよう研究を進めています。マウス、ラット、ウシおよびヒトなど動物種を限らず研究を行っていますが、残念ながらウマに関する研究は行っていません。ウマに関しては、季節繁殖動物であることや妊娠期間が330日程であることなどの基本的な繁殖特性について授業で触れる程度であり、あまり深い知見は持っていません。馬術部部長就任を機会に、ウマについての授業を増やし、研究にも携わって行ければと考えています。

趣味は特に無いのですが、私に取ってのウマと言えれば“競馬”です。ハッキリ言って馬券はほとんど当たりませんが競馬は大好きです。最近はスマホで馬券が簡単に買えるのでホトホト困っております。息子には、ある名馬を由来に隼秀（ハヤヒデ）という名前を付けました。写真は今夏の北海道での学会の折、20年ぶり会って来たビワハヤヒで号（菊花賞・天皇賞春・宝塚記念）です。

私は中学・高校まではバレーボール部に所属していました。しかし、馬術という競技にはほとんど接する機会がなく、テレビ中継もないため正直どのような競技かは全く分かっていません。このような状態で部長をお引き受けするのはいささか気の引ける思いがあったのですが、服部先生にご相談させていただいた所歴代の部長も就任当初は馬術に対してそんなに深い見識をお持ちで無かったようなので、少し安心しています。今後は最低でも競技内容やルールについて理解して行こうと思っています。実際は、競技そのものより私が貢献すべき所は他にあるようですので、部員や諸先輩方のご意見を参考に、出来るだけ馬術部が自由に活動できるよう影から支えて行きたいと考えています。何卒ご協力とご指導を賜りますようお願い申し上げます。



目次

- 01 巻頭言
- 02 目次
- 03 役員紹介
- 04 会費納入者名簿
- 05 会長退任挨拶
- 06 新会長挨拶
- 07 監督挨拶，コーチ挨拶
- 09 主将挨拶，主務挨拶

馬術部

- 12 活動実績報告および活動予定
- 13 戦績報告
- 14 馬匹紹介・離厩報告
調教報告
- 16 合宿報告
- 18 水交乗馬会と現役部員の交流
- 20 部員自己・他己紹介
- 30 馬術部平成 25 年度決算および平成 26 年度予算報告

松風会

- 32 会員の皆様へ 春以降の経過報告
- 37 90 周年記念行事のお知らせ
- 38 松風会平成 25 年度決算および平成 26 年度予算報告
- 39 松風会会則
- 40 松風会名簿
- 44 会費お振り込みのお願い

役員紹介

九州大学馬術部

部長	山内 伸彦	(農学部准教授)		
主将	藤田 朝子	(2回生)		
主務	今西 春香	(2回生)		
会計	澤江 悠太郎	(2回生)		
渉外	太田 明里	(2回生)		
主務補佐	鈴木 雅人	(1回生)		
幹事補佐	山根 和樹	(1回生)		
部室管理	鈴木 陸	(1回生)		
馬場管理	新谷 広太郎	(1回生)		
郵便管理	菅原 理子	(1回生)		
鞍数管理	佐藤 沙友里	(1回生)		
H P管理	乾 陸生	(1回生)		
監督	伊佐 学	(S48卒)		
コーチ	山田 知佳子	(S63卒)		
	梅津 啓司	(H07卒)	内村 博	(H10卒)

松風会役員

名誉会長	大國 元	(S36卒)		
会長	櫻井 正行	(S49卒)		
副会長	酒井 喜久雄	(S49卒)	高橋 敬	(S53卒)
常任理事	永山 猛彦	(S43卒)	伊佐 学	(S48卒)
理事	植木 洋一	(S49卒)	清水 英次	(S51卒)
	八木 博子	(S53卒)	上ノ土 晋	(S63卒)
	久間 嘉晴	(S43卒)	関東支部長	
	和田 信之	(S51卒)	関西支部長	
監事	倉重 健一	(S55卒)		
本部長	上ノ土 晋	(S63卒)		
事務局	八木 博子	(S53卒)	坂元 仁美	(S55卒)
	倉重 健一	(S55卒)	小松 寅彦	(H09卒)
	新宅 悟	(H18卒)		
関東支部長	久間 嘉晴	(S43卒)		
副支部長	曾我 嘉海	(S45卒)	田島 義行	(S47卒)
事務局長	岩本 忠光	(S57卒)		
関西支部長	和田 信之	(S51卒)		
事務局長	北原 浩司	(S61卒)		

松風会会長退任のご挨拶

永山 猛彦 (S43)

卒)

今春の松風会総会において、会長の任を退き、櫻井正行さんに会長をお願いする事になりました。平成21年度、大國名誉会長から会長を引き継いで5カ年間、この間、会員皆様のご支援・ご協力により、会長を務めさせて頂き、感謝申し上げます。

この5年間で振り返ってみますと、特に平成21年9月、六本松の教養部が粕屋農場から30km離れた伊都キャンパス(CP)に全面移転した事から、農場と伊都CPに近い民間乗馬クラブであるコンラッド・ホースファーム(HF)との所謂「練習2元化」をスタートさせました。馬場馬術競技で目覚ましい成果を出す一方で、2カ所での練習・運営面でのマイナス要因が顕在化しました。平成23年夏、農場馬場内での事故により1頭を失った事を契機に上級生が退部し、事実上、当時1年生3名が部に留まるのみとなり、廃部も覚悟する事態となったのです。

その後、コンラッドHFから撤退し、農場1カ所に練習及び自馬を集約しました。この春には、新入部員7名も加わり、部員数11名、自馬2頭ながら、漸く本来あるべき大学部活動としての馬術部まで回復する事が出来ました。

この謂わば「事件」から教訓として、部運営・指導体制等の有り方、また、部の基本理念等々、初心に帰って見直す事が挙げられます。

ともあれ、先の事故以来、会員の皆様には大変ご心配をお掛けしました。また、部存続に向けて、服部前部長・福岡在住のOBや木村県馬連理事長を始めとした皆様の並みならぬご尽力・ご協力に、改めて感謝申し上げます。

平成23年9月に永沼義彦さんが、翌24年10月には上野純也さんが逝去されました。永沼さんは特に九大馬術部並びに福岡県馬術連盟創設に多大な足跡を残されました。上野さんは自馬育成・調教面でその後の規範となる足跡を残される一方、長年に亘り、多くの後輩を指導されました。真に残念な事で、心よりご冥福をお祈りする次第です。

一方、関東・関西両支部始め、昭和39年・40年卒の集まりである「サンクス会」等、松風会会員相互の親睦が進みました。私も時に支部総会・懇親会に出席させて頂きました。

また、事務局のご尽力により、ペガサスのリニューアルに加え、ニュースレターの発行等により、会員相互のコミュニケーションも進んだものと思います。

今後とも、松風会会則第一条「会員相互の親睦を図り、九州大学馬術部の後援を通して馬術発展のための貢献をなす」の松風会目的に沿い、本会が益々発展する事を願っております。

さて、平成22年10月に「九大馬術部創設85周年祝賀会」を開催致しました。来年の平成27年には「創設90周年祝賀会」が予定されております。また、懸案の馬術部馬場移転(伊都CP内に新設)も4、5年後の予定です。未だ暫くは、現役諸君による馬術部運営に対する苦労も続くものと思いますが、それも若人の良き試練となる事でしょう。馬術部あつての松風会。部の健全なる発展を願いつつ、会長退任の挨拶とさせていただきます。有難う御座いました。

(平成26年10月14日記)



農場で練習を見守る永山氏

会長挨拶

松風会会長 櫻井 正行 (S49 卒)

この春の松風会総会におきまして永山前会長に替わり、会長を務めることになりました。永山前会長は、九大馬術部が大変楽しい時期に会長を務められ、やっと体制が整ったという時期での交替でした。

思えば私が馬術部員のときの新監督でご指導を受け、以来40年のお付き合いになります。

引き受けるに当たっては悩みもありましたが、永山前会長の意を受けて、大変僣越ではありますが、新会長として頑張りたいと思います。

現在、学生部員は、2年生が藤田主将を中心に4名、1年生が8名(うち1名は留学生)計12名で活動しています。頭数は、2頭+1頭(臨時に借用中)で今後の学生の練習時間により調整します。

というのは、2年生はほぼ箱崎周辺に居住していますが、1年生は伊都地区なので平日の練習時間に制限があり、馬の世話を考慮すると2頭が限界かもしれません。ただ土日は大勢が練習参加となり、2頭では苦しいということもあります。

いずれにせよ、平成31年の馬術部移転(早ければ30年かもしれませんが)まであと5年を目途にここ糟屋農場で活動いたします。

来年10月10日(土)には「九大馬術部創設90周年」の記念式典を開催します。全国から多くの会員の皆様が福岡に集結し、学生部員と一緒に祝いたいと思いますので早めの計画をお願いします。

最後になりますが、馬術部の現状をご理解いただき、会費納入はもちろんですが暖かいご支援やご指導をお願いします、会長就任のご挨拶に変えさせていただきます。

2014年(H26年)10月



H26.6.7 関西支部歓迎会に参加

後列 北原, 阿蘇, 美山, 杉林(帰阪), 馬場, 和田
前列 森藤, 氏原, 櫻井, 池山(就職), 田原



H26.7.19 関東支部総会に参加

前列右より5番目 櫻井新会長

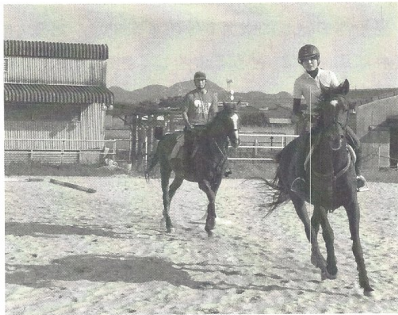
監督挨拶

九州大学馬術部監督 伊佐 学 (S48卒)

今年は天候不順で、晴れの日が少ない
8月終わりのある朝の事である・・・
今日も朝から雨・・・
気を取り直して馬場へと向かった。

馬場についたのは午前7時ちょっと過ぎ。
自転車が3台ある。
馬房ではもう清掃作業をしている様子である。
清掃作業をしているのは、昨夜から泊まりの1年生
達、彼らが入部して半年…作業は慣れたものである。

連日の雨、今も降ってはいるが練習はすることに
した。馬を洗い場に出して、馬具を付け、まず2
年生が先乗りして、次に1年生を順次に騎乗させ
る。
鞍数によってレベルの違いがあるから、いつも部
班練習というわけにはいかないが、条件があれば
部班練習を復活した。



厩舎前では手の空いた他の部員が練習をみている。
練習の後も、雨の中で濡れながらもワイワイと喋り
ながら厩舎への浸水防止のために土留作業をして
いる・・・全体を通じてすごく活気が見られる。
そして何よりも自主的な動きが頼もしい。

馬術部としては当たり前前のスタイルなのであるが、
近年見られなかった風景である。
・・・(やっとここまで戻ってきた)・・・
今の素直な気持ちである。

4月初めの頃は、授業のために平日は練習に参加でき
ないだろうと予想していましたが・・・その平日にも積
極的に参加する部員が多くなりました。

だから1月の頃には1頭のみだったが、5月12日には
2頭体制となり、さらに夏休みには一時的ではあるが
3頭体制にして練習を行っています。

ここまで復活したのも大勢の皆様の支援のおかげで
あり、何よりも部員一人一人、とりわけ藤田主将をはじ
めとして2年生の頑張りによるところが大であります。
また、山田コーチ、梅津コーチ他のOBの熱心な指導が
あります。

さらには馬の入厩などに関して、福岡馬事公苑の木村
さん、吉田さんには大いに助けていただきました。本当
に感謝します。

聞けば、馬術部の移転にも光が見え始めているとの事
ですが、まだまだ予断は許しません。まだまだ部員も少
ない現状です。本来の姿に戻すべく、部員共々頑張って
いきます。引き続き更なるご支援をお願い申し上げます。

今回の件では、コーチ、大学院生、また福岡馬事公
苑の木村さん他の皆さんに大いに助けられました。本
当に感謝します。

今春には新入部員の大いなる獲得を図って、馬術部
の再興に重点を置きたいと考えます。

コーチ就任挨拶

コーチ 山田 知佳子 (S63卒)



このたびコーチ就任の要請を受けました昭和63年卒の山田知佳子です。馬場への来場自体は主人が長年コーチをしていた関係で度々来場していましたので、実際のところ今までとあまり変わらない生活ですが、いざコーチの肩書きをいただくと、その責任の重さを改めて感じます。

これまでは単純に気づいたことを声かけしていただけでしたが、コーチになると決まってからは対象の学生がこれから上達する上で何を声かけすべきなのか、どう声かけすれば効果的なのかを考えるようになりました。そのため、私自身が様々なことを一層観察する

ようにもなりました。考えること、観察することは、学生のためだけではなく私自身の馬術上達にも役立ってくれるものと感じて、より一層精進していきたいと思えます。

何れともあれ一時期は部員3名になっていた馬術部が1人増え、7人増え、来場するとにぎやかな雰囲気が戻ってきているのが何とも喜ばしいことです。又、最初は頼りなさそうな学生がだんだん頼もしくなっていく様子を見られるのも嬉しいものです。楽しい事ばかりではなく、時には辛い事や苦しい事もあるかもしれませんが、馬をパートナーとして部活をするというのは人生の中でも貴重な経験となるはずで、馬術部の活動を通して、仲間と過ごす事の素晴らしさや、社会人となっていくのに伴う責任や常識も自然と学んでくれるといいなと思っております。

馬術部の発展に微力ではありますが、お役に立てれば幸いです。どうぞよろしくお願い致します。



2014/10/19

左：山田コーチ 右：今西(2年)と新風

主将挨拶

2 回生 藤田 朝子

改めまして、今年度から主将を務めさせていただいております、文学部二年の藤田と申します。上の学年からの引継ぎがなく、部の目指すべき方向、スタイルが与えられていない中での主将就任でした。ですから私が第一に考えなければならないことは、「どういう部活を目指すか」であり、ひいては「学生馬術とは何か」を考えることでした。

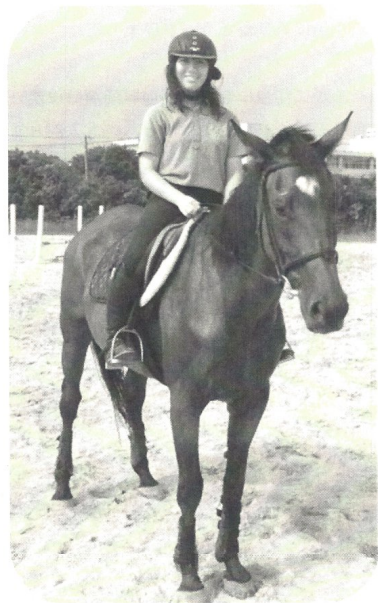
馬歴が一年にも満たない私にとって、それは大変難しい問いでした。その本質は未だ捉えることが難しく、日々思うことが、語ることが出来るような形を取るには、私はあまりに実践と経験に欠けています。しかし、こうあって欲しいと願う馬術部は、鮮やかに思い描くことが出来るのです。引退し、卒業しても集まっては飲み語り合う仲間と、ずっと応援していきたいと思える後輩たち。そういった人々を育む場。10年、20年、更にその先も、そのつながりが永く続いていくような。そのような馬術部の実現を、この世代で担うことが、私が主将になった意義であり使命です。私たちには確かに、上の学年からの引継ぎがありませんでしたが、私たちを支えてくださるOBさん方の姿が、私に九大馬術部を見せてくださったように思います。きっとその姿を見失わずに足を止めなければ、「学生馬術とは何か」という問いの答えに辿り着ける、という予感がしています。

「仲間」についても、考えています。先に申し上げたような部活の実現には、仲間というつながりが、友達というつながりに先んじて必要であると思います。それらの違いとは何か。仲間というのは共通の目標に向かって結びついているものであり、その為には苦難を分割して支えあい、ぶつかり合い、それを乗り越えて得た喜びを祝い合う存在だと、私はずっと思っていました。現役部員達には是非「仲間」になって欲しい。

互いの協力、努力、尊重が必要な、大変難しいことではありますが、社会人を目の前にして部活を終える時に「やってよかった」と感じるのは、きっとこの仲間を得た時ではないでしょうか。

この部活には仲間になるべきもう一つの存在、馬がいます。馬にも勿論同様の努力が必要だと、未だ沢山知らないことのある、物言わぬ彼らに対して感じます。しかし、人と馬の仲間を得ることが出来る部活なんて、他にはないではないか、と改めて馬術部の素敵なところを噛みしめる気持ちです。

長い歴史を持つこの部のたすきを受け取った今、このたすきをつないできた先輩方の声を聴き、現役部員の声を聴き、誠意のある取り組みをしていきます。これからも、先輩方のお力をお借りすることになるかと思えます。応援に報いるような馬術部を見せられるはずだと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。



主務挨拶

2 回 生 今 西 春 香

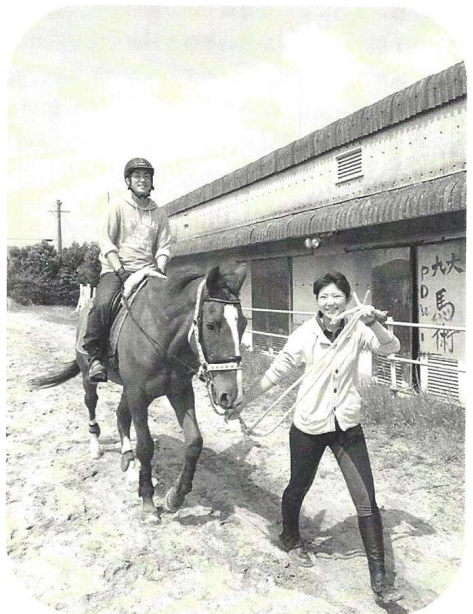
こんにちは、主務の今西です。一年夏から上級生がないという、他の部活にはなかなかない特殊な環境の中、一年夏から主務の仕事を務めさせていただき早いものでもう一年が経ちました。先輩から引き継いだものの初めは何をすればいいかわかりませんでしたが、大学との連絡係という大事な役割ということで少しずつ仕事を覚えられたかなと思います。

馬術部に入ってから的一年半で部には色々な変化がありました。初めはコンラッドと粕屋農場の二か所体制でしたが、一年後期から農場一本になりました。同時に先輩もいなくなりそれからの半年は一年生三人という体制で右お左もわからない状況でした。馬匹は麗風号の一頭だけでしたが、少ない人数で飼い付けを回したり、大会の使役に行ったりするのはとてもつらく感じました。今思い返してもあんな大変な状況でよくやったなあと思います。しかし伊佐監督をはじめ、コーチの方々、松風会のたくさんのOBさん方に助けていただきながら、なんとか部を運営することが出来ました。本当にありがとうございました。

私たちが二年生になり主将の藤田が部に戻ってきてくれたことや、一年生がなんと八人も入部してくれたことで部に活気がでてとても嬉しく思っています。一年生は男子六人、女子二人で、一、二年合わせた男女比7：5となりいい具合にまとまったと思います。昨年は男子一人だけで寂しかった澤江も、なんだかとても楽しそうです。部室で寝泊りが出来たり、テレビゲームが出来たり、みんなで騒いだり…こんなところで大学生の部活っぽいなあ実感したりしています。

このような環境が整えることが出来たのもOBの皆さんのお力があってこそです。ありがとうございます。さらに、馬匹の入れ替えに関しても、部員の様子に柔軟に対応していただいたことで、みんなが安全に馬と関わる事が出来ていると思います。また、柿原さんに飼い付けをお願いできたことで、苦しい時期を乗りきることができたと非常に感謝しています。

まだまだ手探りな部分はありますが、一応部活として形になってきたかなあと思います。これからも部員同士支えあいながら頑張っていこうと思いますので、応援よろしくをお願いします。

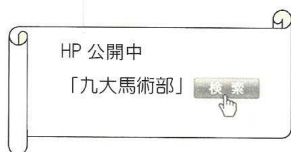


馬術部



練習後の反省会をする部員
コーチは見守りつつ適切にアドバイス

活動実績報告および活動予定



<平成 26 年(2014) 活動実績>

- 4月4~7日 新入生勧誘活動
- 5月3日 新入部員歓迎バーベキュー
- 6月 新歓コンパ
- 8月8~10日 夏季九州学生馬術大会
(第10回 九州地区全日本学生馬術三大大会予選会)
- 9月13~15日 夏合宿
- 10月4~5日 水交会と現役部員交流騎乗会
- 10月11日 オータムホースショー

<平成 26~27 年(2014~5) 活動予定>

- 12月13~14日 クリスマスホースショー
- 3月下旬 第16回 春季九州学生馬術大会
- 5月上旬 松風会総会
- 5月中旬 福岡馬事公苑ホースショウ
- 6月下旬 福岡県馬術大会
- 6月 新歓コンパ
- 6月 第54回 七大戦(主管 東北大学)
- 7月中旬 夏季九州学生馬術大会
(第11回 九州地区全日本学生馬術三大大会予選会)
- 9月下旬 夏合宿
- 10月中旬 オータムホースショウ
- 11月下旬 第59回 福岡県民大会 兼 第55回 福岡県馬術選手権大会



第54回 七大戦 マスコット
「宗タン」

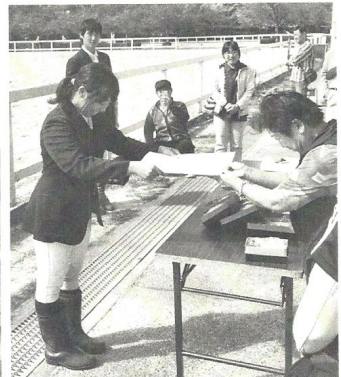


戦績報告

夏季九州学生馬術大会		2014年8月8～10日（宮崎県 綾馬事公苑）			
（第10回 九州地区全日本学生馬術三大会予選会）					
種別	競技	順位	選手名	馬名	成績／減点
馬場	SA 級馬場	合格	澤江悠太郎		
		合格	藤田朝子		



オータムホースショー		2014年10月11日（福岡県馬場）			
種別	競技	順位	選手名	馬名	成績／減点
障害	クロス障害	3位	藤田朝子	玄宗	37.56 減点0
		4位	澤江悠太郎	玄宗	37.59 減点0
	低障害	2位	藤田朝子	玄宗	45.62 減点0
		3位	澤江悠太郎	玄宗	47.09 減点0



馬匹紹介・離厩報告

繋養馬匹

名号	品種	性別	毛色	生年月日	入厩年月
玄宗（げんそう）	アングロアラブ	セン	栗	H14.3.1	H26.3.13
新風（しんふう）	サラブレッド	セン	栗	H9.3.25	H26.5.12

離厩報告

麗風（ローラン） 2014（H26）年3月13日 離厩 福岡馬事公苑へ

馬の世話は気を付けないと怪我をする、と馬の怖さを教えてくれたのがこの馬です。動いてくれなかったり、蹴られかけたり、噛まれたり、馬房掃除の時に襲われたりと散々でしたが、皆が厩舎でおしゃべりしていると顔を出してジ〜っと見てきたり、妙に入っぽく

て、馬の可愛さも教えてくれました。

先日大会で、福馬事から出場するために待機中の麗風に出会いましたが、ものすごくおとなしくなっていました……アレレ？ もっと上手になってから乗ってみたかったなあという思いが残っています。

調教報告

玄月号（ラ・ティール）

2回生 藤田 朝子

九大からの支援金にて購入したセン馬です。馬格が大きく力が強いですが、気性が大変おとなしく、よく調教もされている良い馬です。重度のさく癖持ちなのが玉にキズですが。

駢足は左の方が出やすく得意なようで、右の駢足発進の調教を意識して行っています。右の内方姿勢の方が取りづらく、硬いように思います。

馬場の経路を何回か踏むと、覚えて勝手にやっ

て、もうくらい頭が良く、新風より器用だと感じます。現在の私の実力でも、比較的頭を下げた運動してくれますが、たまに走ってしまうことがあります。

夏期の九州学生馬術大会（宮崎・綾）と、オータムホースショー（福岡・古賀）では、大会会場でも大変落ち着いていて、いつも通りのパフォーマンスを見せました。九大の試合馬として、今後も大事に調教していきたいと思います。



新風（ラクティシャルマン）

2 回生 澤江 悠太郎

今年の5月に我が馬術部にやってきた17歳の栗毛の馬です。右眼が腫れて目ヤニがひどく、毎日洗浄し点眼薬で治療しなければなりません、練習には支障ありません。

玄宗のように張ることもなく、指示には比較的従ってくれています。ただ右手前で外に逃げやすく、矯正中です。年寄りなので身体を気遣いながら大事に世話をし、馬術部の柱となるように部員全員で支えていきたいと思っています。



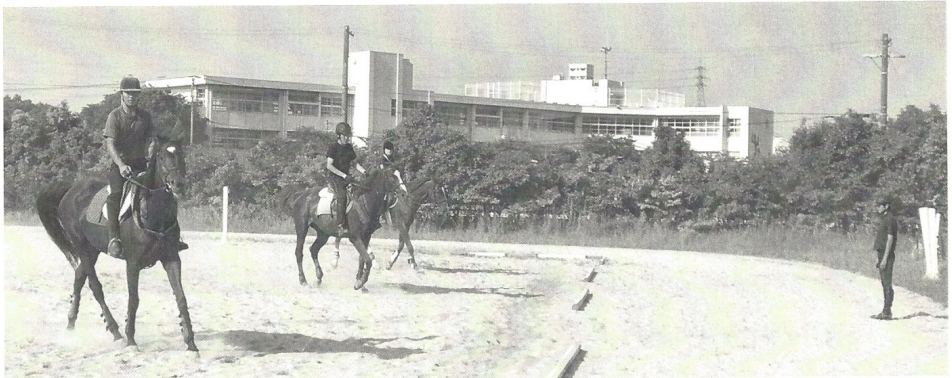
ハイジ

9/12 から 9/14 に行われた夏休み合宿に向け、玄宗と新風の2頭では練習が十分にできないのではないかとこの事で福馬事からサラブレッドの牝馬・ハイジを借用させていただきました。

ハイジは手入時にはハエを嫌って蹴ったりすることはありましたが、基本的にはおとなしく扱いやすい馬だったと思います。反動が少なく乗り心地も良かったです。特に速歩では正反動の練習にもってこ

いでした。やはり馬が3頭いると一人当たりの練習時間がたくさん取れ、いい練習をすることが出来ました。

後期に入ってから3頭体制で続けるかどうかを部員で話し合った結果、一旦ハイジは福馬事に返却するという事になりましたが、ハイジをお借りしたことでいつも違う馬と接することが出来、全員にとっていい経験になったと思います。



1年生の部班練習（号令は澤江）手前の馬は夏だけの借用馬 ハイジ

合宿報告

日時：9月13～15日

場所：農場の農学部宿舎

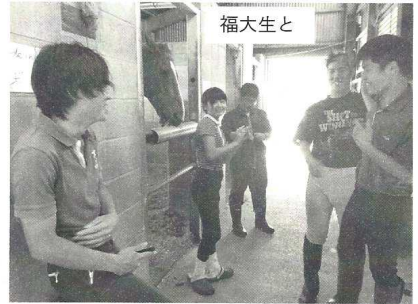
1日目 午前 福大との交換練習：各々、一緒に部班練習
 1年生+澤江 ↔ 福大生4名
 <福大> <原町農場>

昼食 弁当

午後 伊佐監督による馬学
 審判の視点から競技の際の注意点
 大掃除
 部室・鞍置場など（全ての鞍に油を入れて手入れ）

夕食 宿舎で部員が作ったカレー

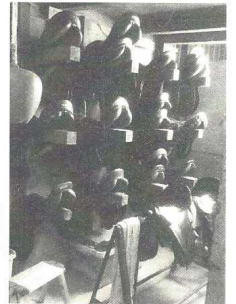
誕生日会 4月から今日までが
 誕生日だった人の誕生日会



福大生と

炊飯器が見つからなかったのですが、ymnくんが鍋でご飯を炊いてくれました

good job!



練習の開始時間が遅れ、練習後のミーティングでfjt主将に“喝”を入れられました。

2日目 午前 練習

馬場周辺の草刈 iniくんの草刈機を操作するスピードはプロ並
 姿見設置予定場所の整備 邪魔な木を、sntnくんがハンマーで叩き折ってくれました

昼食 イオンモール福岡にて

午後 ボウリング大会

夕食 バーベキュー

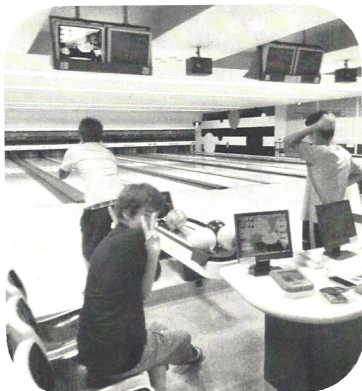
飲むと頭がほわとなる魔法の水 osake も適度に嗜みながらみんなとても楽しんでいるようでした。特にrkくんは頑張っていました。mstくんは飲んだほうがスコアが伸びていました。syrちゃんは初めてボウリングをしたそうですが上手でした。

うちの部ではBBQでマシュマロをあぶって食べるのが定着しつつあるようです。
 この日のsghrちゃんは寝るのが早かったです。

3日目 午前 練習
合宿終了

前日の反省を生かして、しっかり予定時間に練習を始めることができました。

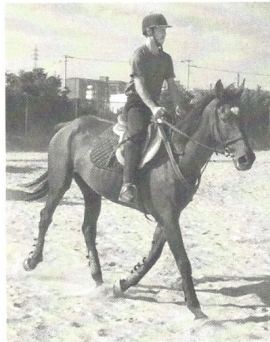
この3日間では部員一人ひとりが少しずつ成長し、部員同士の絆も深まり馬術部全体がまた一つ大きく成長できたのではないかと思います



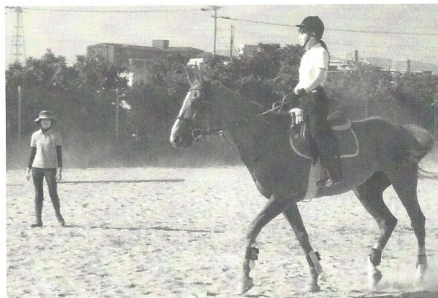
2日目のボウリング大会



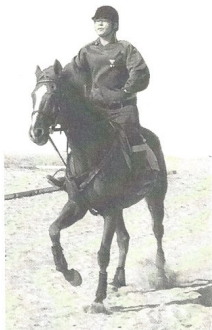
合宿最終日の1年生達



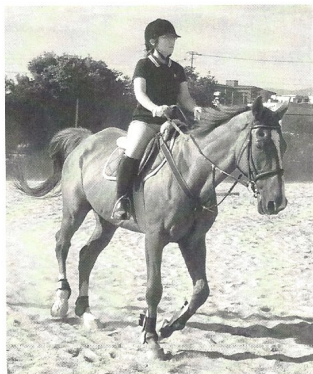
山根(1年)とハイジ



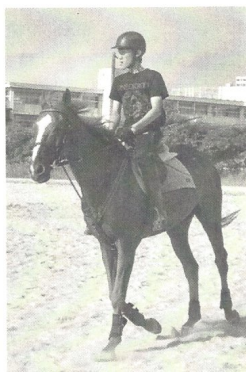
佐藤(1年)と玄宗 号令は太田(2年)



新谷(1年)と新風

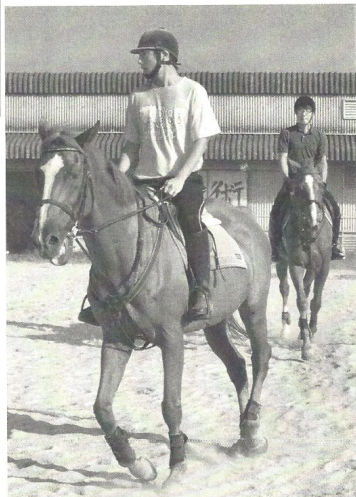


菅原(1年)と玄宗



鈴木陸(1年)と新風

手前
乾(1年)と新風
奥
鈴木雅人(1年)と玄宗



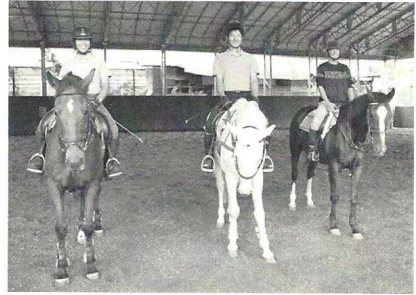
水交乗馬会と現役部員の交流

10月4～5日

於：ララミー牧場（山梨県北杜市小淵沢町 10106）

参加者（OB）：久間(S43)、杉林(S47)、田島(S47)、酒井(S49)、井上(S50)、今池(S53)

（部員）：2年 藤田、1年 乾、鈴木雅人



交流騎乗会の感想

久間 嘉晴（S43卒）

あいにくの台風襲来で、美しい富士山、八ヶ岳、南アルプス連峰などお見せできなかったのは残念ですが、色々な馬に乗ることが出来、水交乗馬会会員の皆さんとも交流出来て、良い思い出になったのではないのでしょうか。

現役部員にはOBとの縁を感じてくれれば幸いです。日頃農場に顔を出す機会が無い関東のOBとしては、現役諸君と触れ合う機会を得たことを嬉しく思っております。

学生の乗馬技量に関して感じたこと

1. 100鞍前後の鞍数ということでしたが、なかなか上手く乗っているなど感じました。日頃農場でコーチされている方々に感謝。

2. まだ着着きが良くありません。その為に体が不安定となり、体に力が入って硬くなっています。その結果、拳が上下動する、踵が上るといことですね。

*「腰を張る」こと、「柔軟性を保つ」こと等を、習得する必要があります。

3. 前肢旋回、後肢旋回、斜横歩など、推進、内方姿勢、脚を使う号令を掛けましたが、理解出来ていないようです。

*まずは頭で理解し、体で実現させるという事になりますが、我々の頃とは違い、書籍以外にインターネットで動画も見られる時代です。

*平日練習出来なくても、座学で頭のトレーニングは出来ますから、是非やって欲しい所です。

みんな迎った道です。次回更に上達した姿を見るのを楽しみにしています。

水交会には気分転換のつもりの軽いノリで参加させていただくことにした（もちろんOBさんに挨拶することも忘れてない）。つまらない授業の日々から離れ、土日に森林の中をのんびり外乗するのも乙なものである。その日九州グランプリの使役に行った友人たちには心の中で「ごめん、来週のオータムで頑張ってるから」と謝りながら、飛行機に乗り込んだ。

旅の楽しみといえば食事と車窓に限る。行きの食事は朝食に鯖寿司をほお張ったり、昼食に通り道のSAで地元のラーメン（確か初狩ラーメンだった）をすすったりできたので満足した。しかし車窓はあいにくの天候で灰色の中でかすかに遠くの緑を眺めるにとどまった。

馬場に到着や否や40分ほど乗馬させていただいた。前半に部班を行い、後半に各個乗り。部班ではやったことのなかった後退や前肢旋回も挑戦し、いい経験になった。各個乗りで

は、せつかくよく調教された馬に乗れるのだからと駆け足発進の練習をしたり、（勝手に）横歩の練習をしたりして楽しんでた。その後、今度は屋内馬場で30分ほど指導していただいた。主に常歩で内方姿勢の取り方の練習。なるべく拍車に頼らないで推進をかけるのに苦労した。

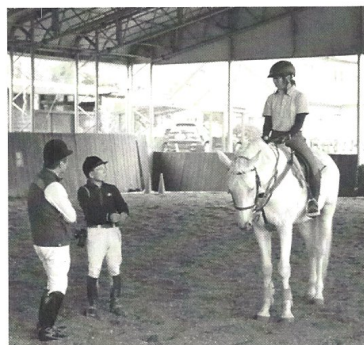
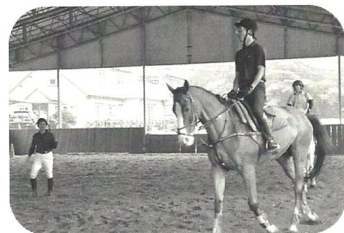
夜は夕食に鱈のマリネをいただいたり、「魔王」を飲ませていただいたり、普段の生活では口にできないものに巡り合えた。（そしてこういうものを普段から口にできるような「立派な」社会人になろうと決意した）

2日目は雨天のため、最初から屋内馬場。部班の後、久間さんに速歩を見ていただいた。私は速歩を苦手としていていつも反撞を抜けていないのだが、歩度を詰め、姿勢を鏡で確認しながら行うことで何とか速歩（みたいなもの）ができた。

外乗はできなかったが、福岡に帰ってからやるべき練習が明確になったため、ひたすらフラットワークをさせていただきありがたかった。

帰りも行きと同様、久間さんに送っていただいた。帰りは途中で蕎麦屋に連れて行っていただき、美味しい蕎麦ときのこの天ぷらをごちそうになった。揚げたてでパリッパリの天ぷらをそのまま口に運ぶのもよいが、それをつゆにドブんとつけて適当に吸ったところでもしゃもしや食べるのがもっと美味しかった。（そしてこういう食事を普段からできるような立派な社会人になろうと誓った）

<鈴木>



今回の水交会では部内以外の馬にたくさん乗ることができた。普段乗っている馬とは性格も全く違っていたので乗りこなすのが大変だったが、結果それがスキルアップにつながったと思う。また、OBさん方の指導は的確で分かりやすく、現役時代のエピソードを聞いてモチベーションを上げることができた。

機会があれば是非また行きたいと思う。 <乾>



2年生

澤江 悠太郎

皆さんこんにちは。2年生の澤江悠太郎と言います。出身は山口で、10月生まれの子羊座です。昨年はいろいろありましたが、なんとか部活動を続けることができました。それもこれもOBの方や先輩方、同期のおかげです。この場を借りて感謝します。1年生が入って

きてから部活動はより活発化しうれしい限りです。初めは大きくて怖いと印象を馬に対して抱きましたが、今では可愛いと思うようになりました。逆に実家にいる犬が物凄く小さく感じるようになりました。

なんだかあんまり自己紹介になっていない気がするのですが、ここで僭越ながら自分のことについて述べようと思います。私は中学校の頃は剣道をやっていました。剣道は厳しくもいい経験になりました。高校の時は帰宅部でした。競歩のように歩いて帰宅していました。

また。私はグミ系のお菓子が好きです。特に、か〇か〇パイ〇ップルは最高だと思います。しかし最近では売られていないのです。伊都キャンパスのローオンでは一時期販売しており私を天国に導いてくれましたが、すぐに販売しなくなり再び絶望を味わいました。もし

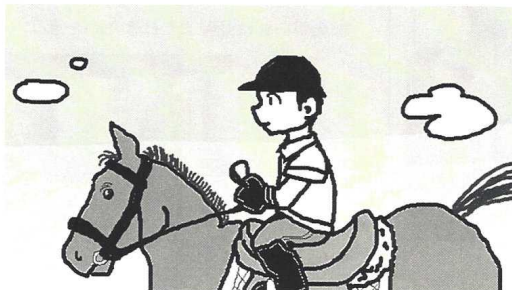
私はのんびり生きたいタイプで、粕屋の農場と相性は良いほうだと思います。春夏秋冬農場で練習してきましたが、四季ごとに様々な楽しみ方があるのだと気づきました。春の少し冷たい風と菜の花と優しく包み込む太陽、夏の昼間の明るさと異常に元気な雑草達、秋ののんびりとした夕陽とコスモス、冬の厳しさとそこにひっそりと息づく生命。いとをかし、といったところでしょうか。昨年は大変なこともありました、

かするとあれはアダムとイヴが食べた禁断の果実だったのかもしれない。

趣味は落書きと空想です。特に空想(というより妄想)癖は激しく、突然自分の世界に入って指をうのように動かしながらせわしくあたりを徘徊したりするので要注意。念のため言っておくと、妄想といっても変なことは考えていません。基本的に頭の中が小学生あるいは幼稚園児レベル(母談)なので面倒くさい人と思ってください。基本的に無害(と思いたい)です。

そんな自然を前にすると大したことはなかったなあと感じます(まあ私は感情の起伏が激しい上に忘れやすい鳥頭で状況によって態度がコロコロ変わるので今書いているときがそんな心理状態なのでしょう)。

さて、以上のことを踏まえるととまるで私が変な人と思われるかもしれませんが。決して危険人物ではないのでよろしくお願ひします。これからも馬術を頑張っていきたいと思います。



乗っているときの絵

sawae



今西 春香



こんにちは、二年の今西です。
 グンマーでおなじみの群馬県です。
 好きな馬の部位はたてがみです。

最近の愛読書は『深海魚のアンコさん』です。
 特技は焼きまんじゅうに味噌をぬることです。
 わなげも得意です。

好きな番組は『水曜どうでしょう』です。

今後どうぞどうぞどうぞどうぞどうぞどうぞよろしくお祈りします。



藤田 朝子



自己紹介！ 藤田 朝子 です！ 2年 文学部 倫理学科 1年次生

こんにちは、2年 主将の藤田です。出身は修猷館高校で、バリバリの地元マンです。高校の頃は柔道をやったので、重度の体育系系です。声が高い。(笑) その一方で、喜々として深夜アニメを見たり、ゲームを一日中やっていたり、たいがうです。シミはオーティオです。ヨドバシカメラ 試聴コーナーで、余裕の3層階にもハマります。不十分です。

あと人並み以上には絵が描けます。佐藤ちゃん(芸画家)や、澤江(奇才)の前で消し飛ばす。絵は好きです。体育系系ヲタと自認しています。

そしてバイブルは「銀牙伝説 WEED」という、大抵が解釈しづらい男... 中漢のロマン譚なので、熱苦しい漢氣を善しとしています。男より男らしくありたいです。花のスーパー欠点は「うっかり」です。アネーサーが本当に好き。最近の玄宗号によく乗っています。彼が大好きです。粘土で立体化できるといいです。



書き出すとかなり設定失敗している(汗)です。今後とよろしくお祈りします。

あかり
太田 明里

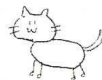


こんにちは。単位数ギリギリで
なんとか留年を免れています。2年の
太田 明里です。

今年の冬に比べ、部員の数が倍
以上になり、とてもにぎやかで楽しい
部活になりました。あの時、やめなくて
正解でした。私はこの部が大好きです。

話は変わりますが、私の最近の目標(?)は
「女子力」をみがくことです。具体的には、常に
部屋をきれいに保つことと、料理の練習です。

なんとか在学中に将来の旦那さんを……
なんて考えています。書くのが恥ずかしくなってきたので
終わります。こんは私ですが、これからもよろしくお願ひします。



ハリネズミ飼うか
迷い中…
うちのマンション
ペット禁止だから

1回生

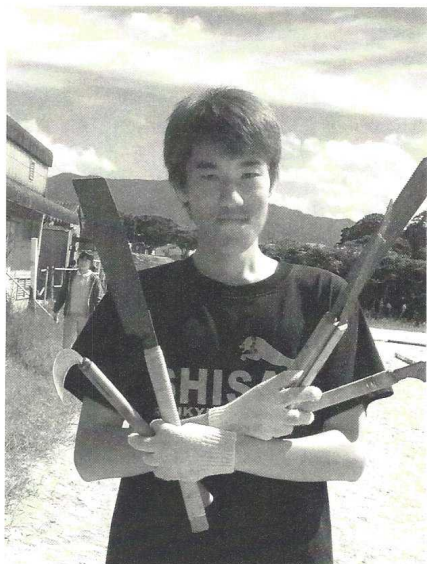
鈴木 陸りく の紹介 from 山根

「バズドラやってる?」「いや、やってない。」これが
彼との最初の会話であった。彼は『バズドラ』というゲ
ームの仲間を増やすため、同じような会話を部員全員と
したそうだが、いまだ誰も始めていない。

出身は福岡県で、1年で唯一の実生である。車の免
許も持っているのので今後部活単位で出かけるとき頼りに
なるだろう。

身体的特徴といえば、部内1背が高いことだろう。馬
を洗うときあまり濡れなくて済むのでうらやましい限り
である。今現在歯のあたりの矯正をしていて整形も今後
するそうだ。彼の写真の変化にも注目である。

練習に関しては教わったり、自分で感じたりしたこ
とを逐一ノートにメモしている。茶髪に似合わず意外とま
じめなやつだ。



鈴木陸による「菅原 理子」の他己紹介

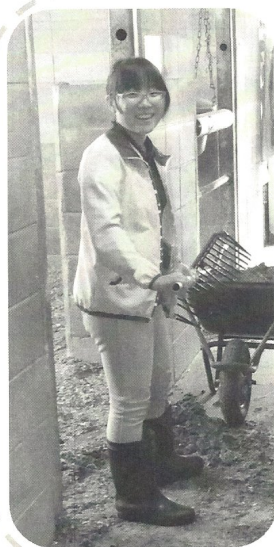
初めての落馬で、両足同時でかつ、しりもちをつかずに着地するという芸術的な落馬を披露してくれた菅原さんは、スガちゃんの愛称で親しまれています。彼女の最も特筆すべき点は、話のレパートリーの多さです。こちらが感心するほどに次から次へと話題が上がってきます。

さすがが議論が得意な法学部といったところでしょうか、話し方が上手くて、しばしば部活動中にもかかわらず話に聞き入ってしまうことも…。

そんなスガちゃんが最近ハマっているのが海外ドラマ鑑賞。Criminal Minds や Mentalist などを見ているそうです。偶然にも私も海外ドラマが大好き。いつか場を設けて語り合いたいものです。



「笑って、おもしろい、アツク、楽しかったし、いいですね。本人曰く美術館巡りを大いに楽しんだとのこと。羨ましい！！



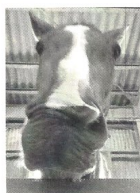
菅原 理子 法学部 1年
(すがはら さとこ)

年齢…18歳
 出生地…長崎市
 血液型…B型
 趣味…海外の作品を鑑賞すること
 特技…ヒロアノ

好きな動物…ハムスター
 は虫類

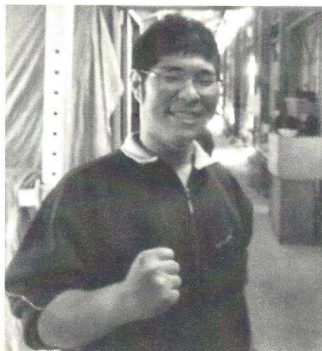
経歴…長崎市立福田小学校
 " 福田中学校
 長崎県立長崎西高校
 九州大学

はじめまして、菅原です。
 車の物が好きで馬術部に
 入部しました。普段の趣味は
 アメリカのドラマ、アニメ、音楽を
 聞くことです。どうぞよろしく
 お願いします。



しんたに こうたろう
新谷 広太郎

※残念ながら新谷(こいや)先輩とは関係ありません



主な経歴

1995年4月19日 誕生

その後高校まで福岡県北九州市若松区で生まれ育つ

2001年 北九州市立古前小学校入学

柔道を小学校2年の冬から始める

水泳、ピアノ、習字、公文式など多くの習い事を続けるが、どれも趣味程度で終わる

2007年 北九州市立若松中学校(旧高塔・響南・星陵中)に入学し、柔道部に所属 初段

2010年 福岡県立東筑高校入学

3年間図書委員会に所属し、部活動紹介や体育祭や文化祭などの撮影・映像編集に携わる

2014年 第一志望校であった九州大学文学部に入学
サークルは馬術部・男声合唱団に所属

私の馬術部あれこれ

ライディング時間は1年生中最長!?

交通費を浮かせるため、練習に行く日は毎朝原付バイクで伊都から粕屋まで片道1時間半近くかけて通っている。当初は寝起きの運転に慣れていないため、バイク事故を起こしたりするも、徐々に安定してきた。実は1年生の中では総鞍数は少なめ。バイクと同じで馬も慣れだと思うので、後期はもっと練習日を増やしていきたい。

馬術部なのに朝が苦手?

疲労が溜まると、所構わず寝てしまう。寝心地などおかまいなし。電灯と音楽は付けたまま、メガネもかけたまま板張りで起きることが多々ある。練習への遅刻数はダントツで毎日恐々としている。夜更かした日は深夜に馬場に行くという自衛策をとるも、練習直前に先輩に起こされることも...

馬術部での悩み



ふくらはぎ一周が45cmもあるのでゴム長靴を買えず、隅に放置されていたチャップスを使用する羽目になったこと。以前はよくカビが生えたが、手入れの甲斐あって生えなくなった。

馬術部ではまっていること(練習以外)

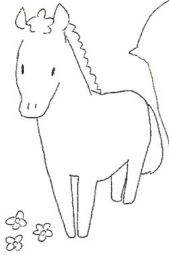
山田コーチからいただいた砥石で錆びついた鎌をピカピカに砥ぎ、馬場に生えた草を日々刈ることに没頭している。

始めこそ誰それとなく手伝ってくれていたが、最近は一ひとりぼっちでさみしい思いをしている。



他己紹介

新谷^{しんたに}くん from 菅原



新谷くんはその気さくな性格で馬術部の皆さんを
なごませるムードメーカーです。おうちでいろいろな
場面もありますが、馬術部と男声合唱
というハードな部活を両立させるがんばり
屋さんなところもあります。最近やせて
きたと馬術部の間で話題沸騰中。
小学校時代のズボンがはけるよう
になったそうです(本人談)。こんな彼に
ぜひ会いに来てくれたらいい。 菅原

富^ふ宝財^{ほうざい}

中国遼寧省から留学生

主な経歴

2000年 遼寧省瀋陽市遼寧大学

2007年 北京市中央民族大学

2013年 福岡市九州大学



入部の理由

初めて外国に来て、全くの新生活ですが、日本で友達を作りたいと思いました。共通の興味を持っている友達を探して、馬術部に申込みました。お陰様で馬術部の皆さんは優しく、馬術部に入って幸福です。

自分の収穫

最初の悩みは日本語を聞き取る力が不足していることで、特に馬術術語は全く分かりませんでした。馬術部の皆さんと馬術への興味を頼りにだんだんに慣れていこうと思います。勿論、依然まだまだです。もっと頑張りたいです。そして、色々な事を教えてくれる馬術部の皆さんに感謝しています。

私は中国東北地方の田舎育ちの農耕民だから、子供の時から色々な動物と一緒に暮らしてきて、とくに馬と犬が好きです。遊牧民になりたかったくらいです。お陰様で馬術部では、立派な馬と優しい日本人と友達に成りました。この経歴は僕にとって、一生忘れたいものになるでしょう。

極秘 九大馬術部員個人データ表

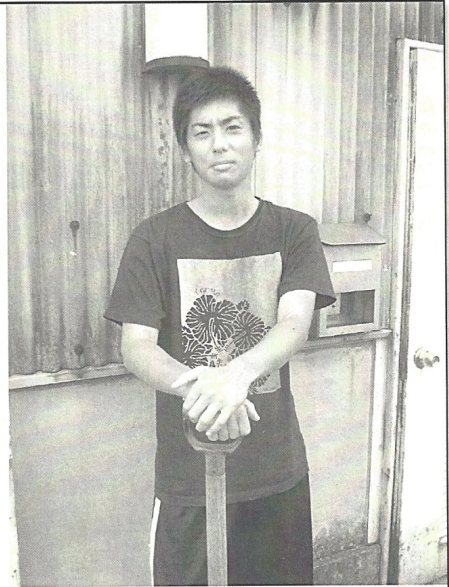
調査項目	調査結果	備考・補足・見解
氏名	佐藤沙友里（さとうさゆり）	呼び名は「さゆちゃん」。別に「さゆりん」という名もあるが、あまりに刺激的なため、いまだに二年生は使っていない。
学年	1年生	1年の誰かさんとは違い、実年齢も二十歳未満。
身長	160cm前後?	藤田部長より少し高いくらいだと思われる。
体重	不明	乙女の体重は永遠の秘密なのです…。
メガネ	「有り」→「無し」に変化	入部当初は昭和の匂いを感じさせる、レンズが広いメガネを着用していたが、最近はおっぱらコンタクトである。
出身地	岩手県	東北弁が口から出たことはない。(映画『Always 三丁目の夕日』の六ちゃんを想像していたので個人的には残念だが)
言葉遣い	常に敬語 博多弁は理解不能?	先輩のみならず同期に対しても、「です・ます調」で話す。だが決してよそよそしいわけではなく、礼儀正しいだけ。「ほうきではわく」をはじめとして、部長の博多弁が理解できず、未だに部長の指示が出るたびに苦労しているようだ。
酒癖	未だ飲酒経験なし	酔っぱらうとどう豹変するのか、部員一同興味津々である。
馬術について	際立つ姿勢の良さ	彼女の姿勢は、監督や練習を見に来られたOBさんをして「背筋がきちんと伸びている」と言わしめるほど。
特技	イラスト作成	部員の日記風落書き帳『楽馬帳』に漫画風のイラストを描く。さすがの芸術工学部、その出来は他を圧倒している。来年の新歓時期にはポスターやチラシ作成に一役買ってくれるだろうと期待されている。



Introduction of

乾 陸生

工学部 機械航空工学科



佐藤です。乾さんの紹介をさせていただきます。
乾さんは明るくてフレンドリーな性格で誰とも仲良くできます！年齢は他の一年生より少し大人ですが、たまに子供っぽい一面もあって親しみやすい人柄です。出身は奈良県。関西弁です。見た目は運動が得意そうなのですが、本人曰く、そう見えるだけとか。

家族も馬術をやっているという馬術一家に生まれた乾さんは馬術への愛が人一倍で、頻繁に練習に来る頑張り屋さんです。一年の中でも特に乗馬しています。(部活に没頭しすぎて単位を落とさないように気をつけて！)よく部室に泊まるのも乾さんで、だんだん部室が乾さんの部屋と化しています。皆から片付けができていないとよく言われていますが、私が泊まった時には綺麗に片付けてくれました。やればできます！

同じ一年生の雅人さんとは大の仲良し。初めて会った日に意気投合して映画に行ったとかなんとか。二人とも馬術にかなりのめりこんでいて良いコンビです。男の友情がアツいですね！毎日たくさん練習してどんどん上達している乾さんなので、大会に出られる日が楽しみです。応援しています！
以上、佐藤による乾陸生さんの紹介でした！

(佐藤)

地元 岩手県 大船渡市・陸前高田市

私の故郷である大船渡市とその隣にある陸前高田市は、東日本大震災によって被災したことで有名になりました。この二市は岩手県南部沿岸地域に位置しています。リアス式海岸による複雑な海岸線が見られ、国の名勝に指定されている美しい谷や浜などの観光地もあり、海と関係の深い市です。
震災によって市の中心部が壊滅し、多くの死者を出しました。震災直後は瓦礫の山となっていました。現在では撤去されて更地が広がっています。以前は水産業が盛んで、サンマやワカメ、アワビ、ホタテなどといった水産物を収穫する全国有数の漁港がありました。震災で大打撃を受けた水産業ですが、漁業再生に向けて様々な取り組みが行われています。
震災時は多くの避難者が明日の生活もままならず不安な日々を過ごしていました。しかし、他県からの支援もあって何とか復興へ向け歩みを進めています。支援していただいた全国各地の皆様から感謝しています。

(佐藤)



▲陸前高田市にあるモニュメント「奇跡の一本松」と津波で全壊したホテル

〈鈴木 雅人の生態〉

彼が入部してから半年、マサトは九大馬術部にとって必要不可欠な存在となった。夏休みには週5日ご部屋に泊まり、馬の世話をする熱血ボーイ。彼の馬房そうじは一級品で、「マサトの通った道にはホロひとつ残らない」という伝説ができる程だ。彼は語る、

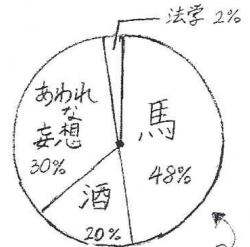
「オレの学部は法学部じゃねえ、馬術部だ!!」と。

そんなマサトには馬術部の酒豪という、もう一つの顔がある。部屋には何故か缶ビールが大量にあり、定期的に彼の手によって補充される。

「チューハイなんて、ジュースなんだよ!! 焼酎だ、焼酎!!」

と言いながら酔ってから人どくろ彼とつきあうのが落馬するより、つらいというのは、ここだけの秘密だ。

彼の馬と酒中心の生活はここからも続く...



山根和樹とは？

① 理想的な後輩

同期の僕から見ても、彼は後輩の理想像だと思います。高校時代に陸上部主将だった山根は気が利く男で、「いつの間にか」部室を整理してくれたり、お茶の準備をしてくれています。梅津コーチに最も近い部員といえば彼のことでしょう。

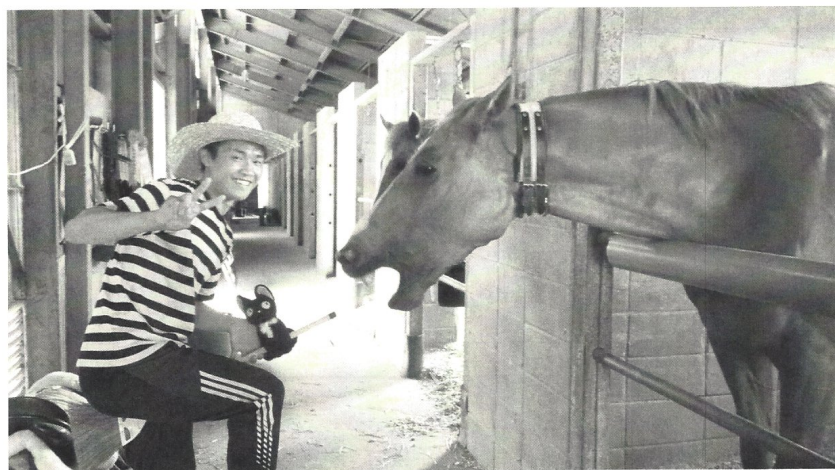
③ 年上好き(?)

大人の色気に惹かれる山根君。
いい恋してください。

② 酒酔うと踊り出す

山根は酒に弱いぞす(美人にも弱いぞす)。「ほろよい」(2%)を一缶飲んだだけで顔が赤くなり、陽気になり、半裸になり、踊り始めます。そんな彼は飲み会の主役。先輩方も、同期も、「山根いじり」を楽しんでいます。

from 鈴木雅人



馬術部平成 25 年度決算および平成 26 年度予算報告

収入項目	26 年度予算	25 年度決算	25 年度予算	備考
部員負担金				入部金 ¥1,000 月 ¥3,000 (引退後 月 ¥1,000)
部費	382,000	180,000	400,000	
アルバイト				
競馬場	560,000	366,000	600,000	日給 7000 円
競技会使役	450,000	409,000	650,000	
フクト	20,000	10,000	65,000	高校入試模擬試験の試験監督 日給 5000 円
(小計)	(1,030,000)	(755,000)	(1,315,000)	
松風会寄付	600,000	600,000	600,000	
補助金				
学馬連	213,000	213,000	213,000	前年度全日出場頭数や登録頭数により増減
大学	116,000	116,000	200,000	
その他		25, 000		
(小計)	(329,000)	(354,000)	(413,000)	
馬匹売却	0	1,000,000	0	玄勇を乗馬クラブへ売却
滞納金回収	169,198	48,507	0	引退または退部した部員の滞納金
前年度繰越金(準備金)	1,403,534	540,816	417,816	4～8 月の支出準備金 (20 万×頭数) を含む
総 計	3,913,732	3,478,323	3,145,816	

支出項目	26 年度予算	25 年度決算	25 年度予算	備考
馬匹維持費				
飼料	600,000	415,907	700,000	
おがこ	60,000	30,104	60,000	農場のみ
装蹄	260,000	390,717	250,000	
医療	120,000	148,865	120,000	
預託	0	0	165,000	1 頭/月 ¥27,500 (半年分と想定)
(小計)	(1,040,000)	(985,593)	(1,295,000)	
競技会関連				
馬運車	300,000	358,850	300,000	
登録・施設利用	200,000	201,094	200,000	
(小計)	(500,000)	(559,944)	(500,000)	
交通・車両費				
車両	300,000	15,315	250,000	部車の保険・税金, 維持費
燃料	150,000	165,408	220,000	伊都一粕屋の移動, 競馬場への移動
交通費	150,000	80,650	150,000	高速道路・鉄道 (試合やバイトで利用)
(小計)	(600,000)	(397,373)	(620,000)	
全日関連費	0	0	0	
雑費	120,000	88,879	120,000	新歓・備品など
馬具	50,000	43,000	70,000	
新馬購入費	1,000,000	0	0	
繰越金(支払準備金)	603,732	1,403,534	540,816	4～8 月の支出準備金 (20 万×頭数) を含む
総 計	3,913,732	3,478,323	3,145,816	

松風会



平成 26 年 松風会総会 2014.5.17

会員の皆様へ

春以降の経過報告

九大馬術部 新たな出発を支えるために 今できること

ペガサス 53 号でお知らせしたように

昨年 7 月 コンラッド撤退

10 月 活動する部員は 1 年生 3 名のみに

2 月 1 年生 1 名が復部し、やっと 4 名

4 名の 1 年生が農場を選んだのは

上級生がいないという条件で
なぜ 1 年生が残ったのか？

学生らしく
自主的な活動
がしたいから

だったら
松風会はほとんど
部員を支えよう！

すでに繋養馬は、麗風だけになっていましたが

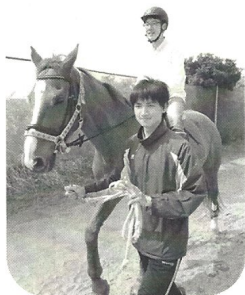
問題点	問題解決への対策	解決
少ない部員がケガをすること	初心者をなめてかかり、嚙んだり蹴ったりすることのある麗風を人添いの良い馬と入れ替える	広い地域から条件に合う馬を探してもらい 3 月 13 日 玄宗 入厩
飼付の負担が大きい 農場に集約したものの、伊都から毎日通えるわけもなく、飼付は引退した 3 年生や退部した部員にも手伝ってもらうというギリギリの状態	飼付を委託できる人をさがす 委託費を支払うことで引き受けてくれる人がいないか 農場周辺のシルバー人材に打診してみるも、毎日では大変と断られた	前部長の服部先生から、農場で研究している 院生の柿原君を紹介していただき、引き受けてもらえた p34 の予算 「飼付委託費」参照
練習の指導者がいない (コンラッドで騎乗できる回数が少なかったため、1 年生だけではまだ不安)	1 年生部員が成長するまで 総力で支援 卒業前の修士 2 年生に協力要請 3 人のコーチと監督もローテーションを組み、練習時にだれか指導できる人がいるようにした 一人に乗って万が一、ケガをしたらという心配もあった	練習後に反省会を行うなど部員自身の意識も高くなり、技術の上達とともに自信もついてきた コーチ陣は、新入生を指導できるように調馬索のやり方も指導

あとは「新入生をどれだけ集めることができるか」という段階に

伊佐監督が、伊都キャンパスに馬を連れて行って
デモンストレーションしようと企画、警察の許可まで
とったのに、大学側の反対で実現せず、残念

それでも 4月初めから
4名の新2年生だけで精力的に
新入生勧誘活動！

4月19日 体験乗馬会



8名の新入部員が加わりました！

1. 練習環境を整える

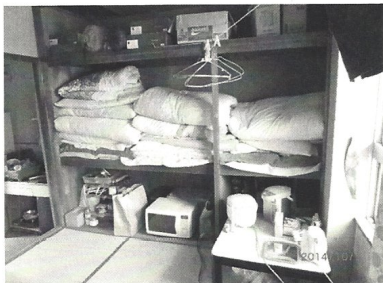
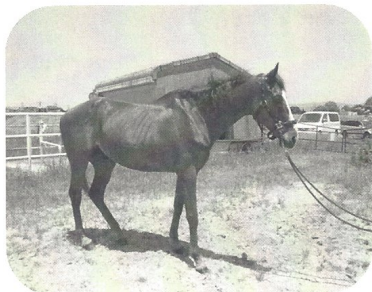
部員が増えたので、もう1頭自馬を増やすことに
1年生でも安全に扱えることにこだわったので、
ちょっとおじいさん馬ですが、新風 入厩（6月）

正月・春休み・土日など、飼付や朝練に参加する
ために、澤江君が部室に泊まるようになっていた
金曜の夜から3連泊し、
月曜の朝練まで参加する新1年生も出現



築後30年を過ぎて、ボロボロの部室をリニューアル

清水OBから布団、テレビ・炊飯器・電気ポット・オーブントースター・乾燥機・大型冷蔵庫の
寄付があり、同時に古くて使えないものを軽トラ一杯処分
楽しく集い、泊まれる部室になった

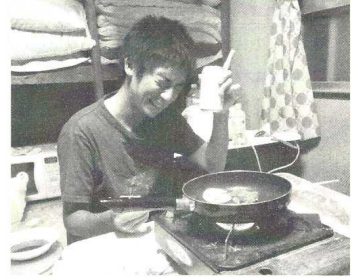




冷蔵庫の中は、ほぼ酒
冷凍食品も備蓄



きれいになった部室で、「暮らしている」部員も…



休日の朝
朝練に参加するため
前日から部室で
数名の部員が雑魚寝



2. こまごました知識・作業の伝承

部運営のための知識、季節ごとに必要な作業など
先輩から後輩へ伝わるはずのものが、全部途切れてしまった
コーチ陣、監督が1から指導

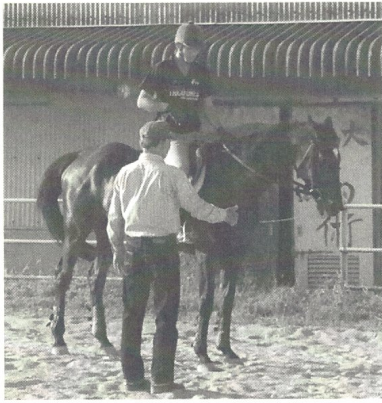
台風前に排水路確保
土のう作り

備品の整理と片付け



指導中の監督とコーチ

下 伊佐監督 右 山田・梅津コーチ
右下 内村コーチ



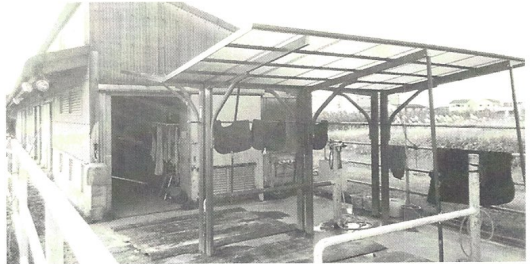
3. 現在の馬場の整備 (移転まで、まだ時間がかかるという予想)

① 馬洗場の屋根 (1 頭分しかなかった) を修復し、2 頭分確保

before



after

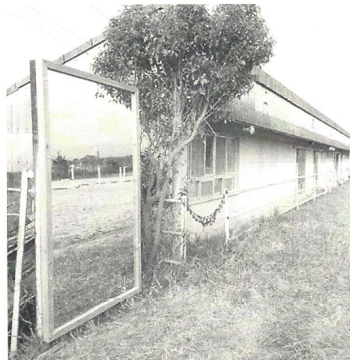


② 金属のフレームだけになっていた姿見の復元

before



after



4. 乗馬の楽しさを実感してもらう

福岡馬事公苑に部員を連れて行って、いろいろな馬に対する乗馬体験を積み、手入れ方法など研修をした。

山梨県小淵沢での水交乗馬会へ3名の部員を派遣
旅費は松風会、滞在費は参加OBが負担し、日頃会えないOBとの交流や5頭での部班運動を経験した。



5. 新馬購入の必要性 (夏休みのみ福岡馬事より1頭借用)

部員が定着すれば、現在の2頭では足りなくなる。部班練習には3頭欲しいのが現実。

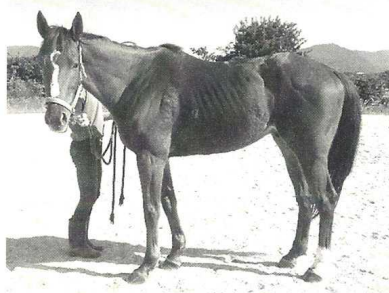
2年生もSA級を取得し、学生の大会へエントリーできるようになったので

玄宗のように試合で使える馬がもう1頭欲しい。

玄宗は、玄皇の死による大学からの助成金(100万円)で購入

速報!!

新馬が入厩しました！ 2014.11.22(土)



この度購入した、3頭目です。そして3頭目の栗毛です。

4歳ですが落ち着きのある馬です。大きな動きの走りをする、何だか素質を感じる彼は、額にフック船長のフックのような模様が入っています。調教もまだまだで、これからの馬ですから、九大の主戦力になってもらえるよう、一生懸命育てたいと思います。(2年 藤田)

90周年記念行事のお知らせ

来年の

平成27年10月10日(土)
セントラルフクオカにて

90周年記念行事開催

7月にご案内のハガキを郵送します。
皆様、同期の方々と久々に会ういい機会です。
連絡を取り合って、そろって参加しましょう!

平成27年5月16日(土)
原町農場にて

平成27年度 松風会総会
開催予定です

ペガサス55号 90周年記念誌への 寄稿お願い

同期や近くに住むOB・OGどうして集まったら、
写真とコメントをお送りください。会えない方も誌上で集みましょう。
来年の90周年記念誌には、たくさんの「懐かしい!」を載せたいと思います。

また、最近乗馬を再開された方も、感想をお寄せください。
学生時代とは違った楽しみがあるでしょう。

送り先 h-yagi@gd6.so-net.ne.jp

会員近況



S51年卒の同期会

左から 清水, 岩野(旧姓 竹山), 新居見

新居見さんと岩野(旧姓、竹山)さんは卒業以来、実に37年ぶりの再会でした。2人の第一声は「ウワーツ、変わってないねー!」でした。皆、還暦を迎え、子供たちが一人前になり、結婚したり孫ができたりますが、実はまだまだ現役であることが若さの秘訣なのでした。

今の九大馬術部近況、私たちの生き様について語るには、2時間はあまりに短く、毎年会って続きを話すことにしました。この若返りと友情を取り持つのは…やはり原点は馬でしょう。「千葉さん、和田さん、次は皆集まるよ!」 清水

松風会 平成 25 年度決算および平成 26 年度予算報告

(平成25年4月～平成26年3月)

収入項目	26年度予算	25年度決算	25年度予算	予算差	24年度決算	前年度差	備考
後援会費							
松風会費	1,000,000	902,000	600,000	302,000	763,000	139,000	
特別寄付	0	573,000	600,000	▲ 27,000	487,000	86,000	
小計	1,000,000	1,475,000	1,200,000	275,000	1,250,000	225,000	
雑収入							
利息	100	167	100	67	147	20	
その他		7,580		7,580	108,000	▲ 100,420	
小計	100	7,747	100	7,647	108,147	▲ 100,400	
預託料寄付(3口)		750,000	900,000	▲ 150,000	1,000,000	▲ 250,000	
当年度計	1,000,100	2,232,747	2,100,100	132,647	2,358,147	▲ 125,400	
前年度繰越金	1,638,018	928,568	928,568	0	878,648	49,920	
総計	2,638,118	3,161,315	3,028,668	132,647	3,236,795	▲ 75,480	

※玄奘号の売却収入金については、松風会で預り金として管理中

支出項目	26年度予算	25年度決算	25年度予算	予算差	24年度決算	前年度差	備考
ペガサス発行費 (発送費込)	160,000	161,847	140,000	21,847	146,432	15,415	発行部数増加のため
馬術部への寄付	600,000	600,000	600,000	0	600,000	0	
飼付委託費	360,000						3万円/月×12月
預託料		600,000	1,200,000	▲ 600,000	1,200,000	▲ 600,000	
予備費	180,000	150,000	200,000	▲ 50,000	351,000	▲ 201,000	
その他	15,000	11,450	15,000	▲ 3,550	10,795	655	振込手数料
当年度計	1,315,000	1,523,297	2,155,000	▲ 631,703	2,308,227	▲ 784,930	
今年度剰余金	1,323,118	1,638,018	873,668	764,350	928,568	709,450	
総計	2,638,118	3,161,315	3,028,668	132,647	3,236,795	▲ 75,480	

医療法人 聖陵会
聖陵岩里病院

理事長 岩田 正生
 院長 山田 和典

〒 877 - 0052 大分県日田市銭沼町 16 - 18
 TEL 097 - 22 - 1600 FAX 0973 - 22 - 1603



酒井内科循環器科

医学博士 酒井 喜久雄

〒814-0104

福岡市城南区別府 4 丁目 4-4, 2F

Tel : 092-821-7408 Fax : 092-821-7433